

1 教科について

国語

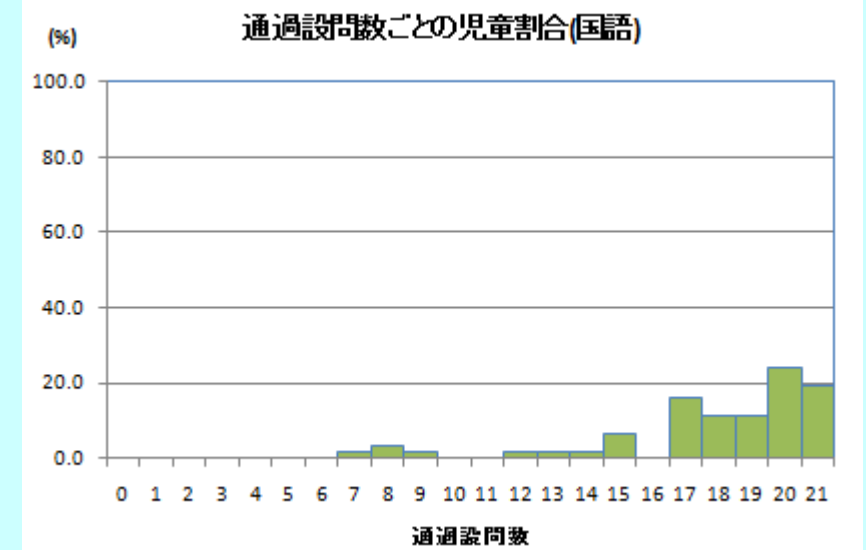
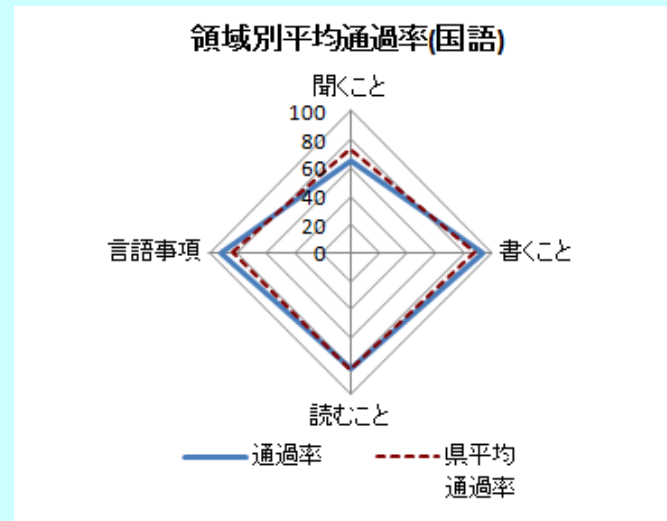
昨年度の課題

- ①主語・述語等の品詞を分類すること。
- ②文脈を理解した上での適切な語の選択や、段落相互の関係を意識しながら文章構成すること。
- ③聞き取ったり調べたりしたことを、目的に沿って取舍選択したり活用したりすること。

昨年度の課題を受けて
具体的に取り組んだ事項

- ①週2回、朝学習の時間を活用して「ことばのまなびタイム」を新設した。
- ②説明文の読み取りを研究テーマとし、教師間で説明文の読み取りの指導法の共有化を図った。また説明文の読み取りにおける手引き書を作製した。
- ③学校行事や教科に関連した課題など、テーマを絞った新聞づくりをおこなった。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 85.4% 県平均 82.3%



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇:全国学力・学習状況調査

- ◎・・・聞く目的を明確にしながら話を聞くことができない。また自分に必要な観点を意識しながら話を聞くことができない。
- ◎・・・文章全体を見通した内容の理解ができず、文脈に応じた接続詞を選択することができない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①「要点の聞き取り」に対しては、必要な観点を意識しておいてから話を聞き取る習慣をつける指導を行う。またメモを取りながら話を聞く活動を増やし、目的に応じて聞き取った内容を活用させる指導を行う。
- ②「適切な接続語の選択」に対しては、説明文の授業の際に段落ごとに要約させることを通して、段落相互の関係に気付かせたり、本校自作の「ことばのステップアップテスト」を継続して行うことを通して、接続詞の理解を深めたりする。

来年度の目標値

- 教科の平均通過率を3ポイントあげる。
- 聞くことの領域別平均通過率を5ポイントあげる。

指導方法等の改善計画について

算 数

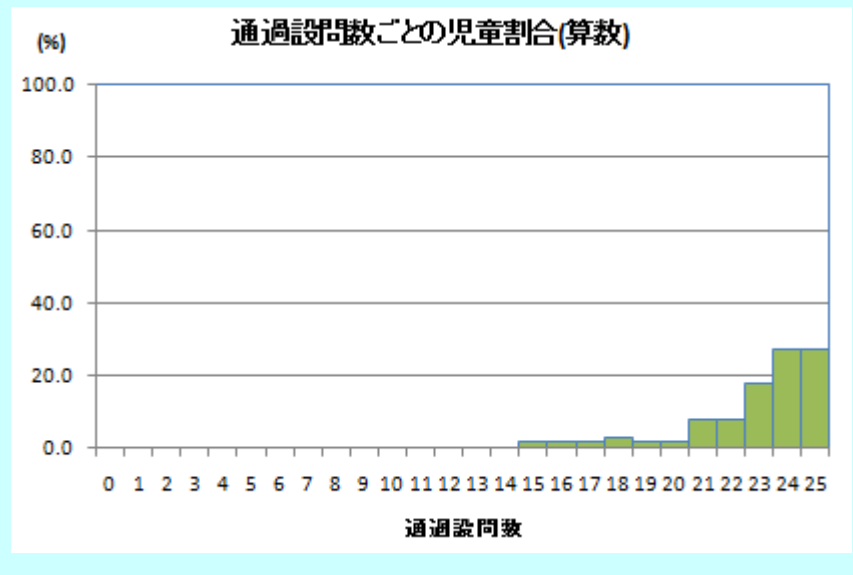
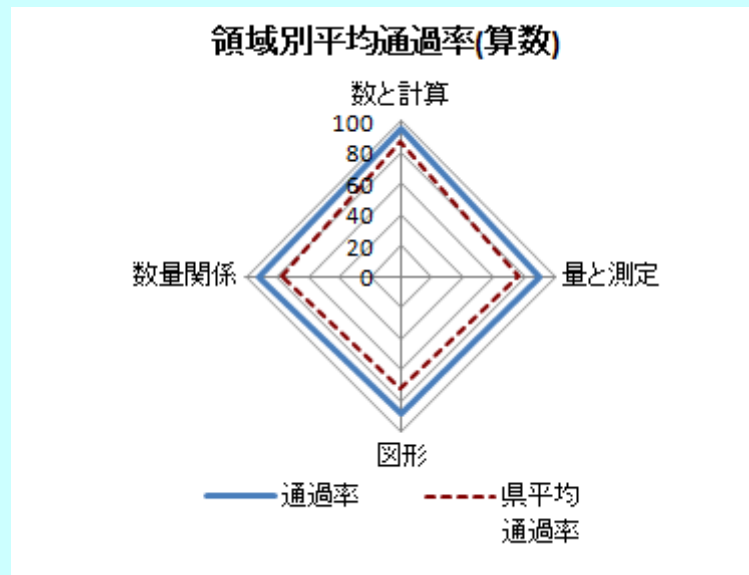
昨年度の課題

- ①分数の概念を正しく持ち、単位分数が基本単位になっていることや仮分数や帯分数の意味を理解すること。
- ②かさと面積の量感を持ち、身近なものを正しい単位であらわすこと。
- ③文章問題において、答えを求めるための手順を見通し、順序立てて立式すること。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ①数直線や模型を用いるなど、分数を視覚的にとらえるための工夫をおこなった。
- ②かさや面積を求める文章問題の際には、実際に具体物を提示してから、絵や図を用いて抽象化していった。
- ③複合図形の問題などで、解き方の順序を整理しながら式で表す際には、立式する前に解き方の手順を文章で表したり、言葉の式で表したりするなどの指導を加えた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 91.9% 県平均 79.0%



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査 ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・図形の求積公式や定理を文章から理解したり言葉で説明したりすることができにくい
- ◎・・・ともなって変わる二量の関係を式で表すことができにくい。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

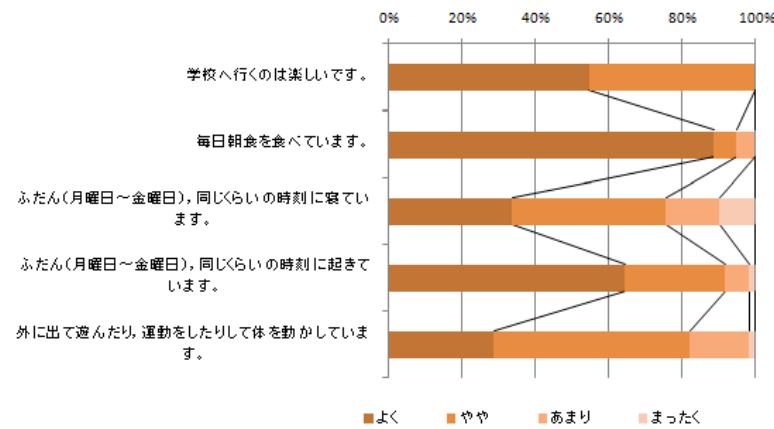
- ①算数科の授業において、自分の考えや問題の解き方を、児童が言葉で説明する場を設ける。
- ②式を与え、条件をつけて作問させるなど、問題場面を主体的に捉えられる課題の出し方をする。

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ○教科の平均通過率を3ポイントあげる。 ○図形の領域別平均通過率を5ポイントあげる。
----------------	---

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

生活習慣

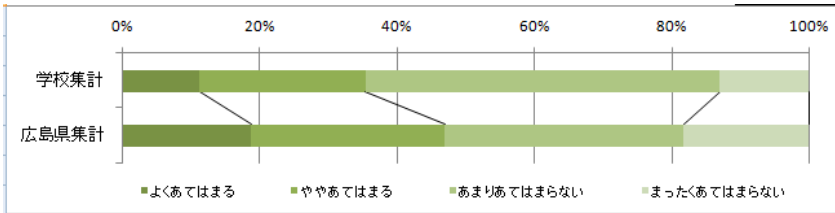


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎・・・学習時間の確保と就寝時間の定時化等の，家庭での生活習慣の定着を図る。	・保護者の協力を得ながら児童に「生活リズムカード」を作らせ，下校後の予定を立てさせる。

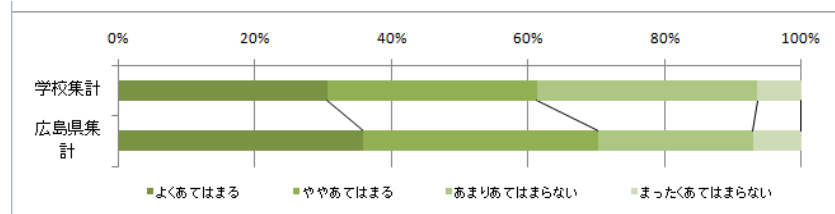
来年度の目標値	・生活習慣の領域に関する「あてはまる」と回答する児童の割合を5ポイントあげる。
---------	---

(2) 教科

国語の授業では，メモをとりながら聞くことがあります。



算数の授業では，考え方やとき方を絵や図などに表したり，まとめたりしています。



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎・・・国語の授業で，メモを取りながら話を聞く機会が少ない。また，話を聞く際に，観点を決めてメモをとらせていない。	・意見分の交流会やディベートなどの話し合い活動の際には，要点や自分にとって必要な観点についてメモをとりながら聞き，メモをとった内容をもとに活用させていく指導を行う。
算数	◎・・・考え方や解き方を，多様な表現方法で説明する機会が少ない。	・多様な意見が出やすいように掲示物の工夫をする。またノートへ自分や友達の考えを整理し，まとめる時間を保証する。

来年度の目標値	・国語 88% ・算数 92%
---------	--------------------

指導改善のための実施スケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
	Plan		Do			Check	検証	Action	Check	
	結果の分析・H21の改善計画の見直し H22の改善計画の実施							次年度の計画		
【教科】										
国語	「ことばのまなびタイム」実施									
		「ことばのステップアップテスト」実施			「ことばのステップアップテスト」実施		「ことばのステップアップテスト」検証			
算数		図形領域の指導法の検討			冬季休業中の個別指導(国・算)		「問題データベース」検証			
	「算数まなびタイム」実施									
【生活・学習】										
		生活リズムカード実施			生活リズムカード実施		生活リズムカード実施	生活リズムカード検証		生徒指導推進委員会
	学校だより ほけんだより などによる保護者啓発									

